

小さなもの、これによつて氏の技倆を窺ふことは出来ぬが、さすがに大家の面影は偲ばれる、この三點はデトロイトのフレヤ氏の愛藏品で、一枚一萬弗でも手放さぬとの事である。同じパステルの裸體畫に Kronberg 氏の小品があるが Whistler

氏に比べて遜色のないよい出来と思つた。水彩

畫の中々は、Burleigh

氏の "Poort" Veere が

よかつた、この先生はボ

ストンで當時評判のよい

人である。Moser 氏の

『湖上の月』は氣の利いた

描法で、Crocker 氏の

"Willows" は色紙半分

丈げ描いてある、吾國の

若い人達に見せたら直ぐ

眞似をするであらう。彫

刻では、此地の Kitson

夫妻の作が一寸目を惹い

たが、記憶にのこる程よいものではない。この會は四週間開場

さるゝそうだが、いつも看覽者は澤山詰かけてゐて、夜分も電

燈の光で見せてゐる、米國では一般に夜る繪を見ても差支ない

ものとして居る。(外遊日誌のうちより)



母鳥 山丸
乳山 晚
房霞 筆

美術は悪く言ふと國民的娛樂に過ぎぬものであるが、唯だ娛樂としても非常に國民の性格上に重要なものである。人間は働くか休むか、勞働するか娛樂するか、二者その一に居らねばならぬ。斯う云ふ譯であるから、勞働ばかりしてゐるとどうしても耐えられないものである、樂しみといふことが必要である、其娛樂に美術的趣味を加味すると高尚なものになるが、美術的趣味がないと野蠻になる、其結果は國民の墮落となり、或は國家の滅亡を來すことになる。穩健にして規則正しき娛樂、殊に美術的娛樂を國民に與ふること

は、國民として殊に缺くべからざるものである。今後文明の事業は益々發展しなければならぬ——其活動に堪へるやうに、國民を健全に發達せしむるには日本人の特徴である處の美術思想を養成して往かなければならぬと思ふ。(浮田和民氏『國民としての成功』日本及日本人)